



社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

ごあいさつ



副院長
佐々木 浩行

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。コロナが蔓延し早3年、現在第8波の中にありまだまだ続きそうな勢いですが、既に世界はアフターコロナに入りカタールW杯でも観客はノーマスクでした。

日本では2類から5類へと動きがありますがまだ先の話のようです。当院でも家族から職員へ感染の経路でクラスターが何度か発生し、皆様には多大なご迷惑をおかけしました。この場を借りて深くお詫び申し上げます。

さて現在カタールW杯が開催され、グループリーグでは日本がドイツとスペインに勝利し、特に三笥選手の「最後の1mm、諦めない姿勢」がVAR判定で1点となり奇跡的なグループリーグ首位突破をもたらしました。コスタリカ戦では「ミスを恐れてバックパスを繰り返す消極的なプレー」が話題になりましたが、総じて日本は「失敗を恐れず、リスク背負って、何があっても最後まで諦めない、勇気を出してチャレンジする姿勢」が感動を呼びました。残念ながらクロアチア戦では延長の末PK戦で敗れましたが、選手の涙と寄り添う姿、最後まで礼儀正しい姿勢は世界に感動を与えました。

私自身はドイツとスペインと対戦すると決まった瞬間「無理だな」と諦めの気持ちがありましたが、最後まで可能性を信じ見守り続ける大切さを今回改めて学びました。

今後も地域の皆様と協力して、地域医療、福祉に一層尽力してまいりますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛み」に涙する。温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

トピックス

今回は、ネット・ゲーム依存の治療、精神科救急学会並びに東北精神保健福祉学会参加報告です。

■依存は子どものSOS～ネット・ゲーム依存の治療～

「ゲーム依存」という言葉をよく耳にするようになってきました。

当院では2020年10月より、入院下で実施するゲーム依存治療プログラム（Net Addiction Treatment：以下「NAT」）を展開しています。決してゲームやネット、スマホの使用について危険性を伝え警鐘を鳴らすためのものではありません。はまりやすい仕掛けがあることを知り、上手な付き合い方を学び、その子ならではの強みを育てることを目的としています。これは効果的な依存症治療の原則に基づいています。

かつて薬物依存について「ダメ、ゼッタイ」「薬物やめますか、人間やめますか」というキャッチフレーズがありましたが、このアプローチは本当に救うべきひとたちに対しては逆効果であり、現実の辛さとの向き合い方を伝えることが大切である、というのが現在の見識です。同様に“いのちを大切に”という教育は、もともと自殺リスクの低い子どもには効果がある（自分がいかに大切にされているかを再認識することで自尊心が高まる）一方で、ハイリスクの子どもたちはそもそもどうやって自分を大切にしたらいいのか分からず逆に追い込まれてしまう、とも言われています。

学校や家庭で辛いことがあったとき、ゲームは一時的に「心の居場所」となります。そこからエネルギーを充電して元の生活に戻っていける子もいますが、現実が大変だとなかなか抜け出しにくくなることがあります。

わたしたち大人はついつい、子どもが思うように勉強しなかったり学校へ行かなかったりすると、「ゲームのせいだ」と思いたくなります。しかしゲームは「目立つ脇役（悪役）」であり、本質は現実の辛さなのです。依存の治療は「リハビリテーション」ですので、子ども達が「これがないと生きていけない」としているゲーム（杖）をいきなり取り上げて「ひとりで歩きなさい！」とすることには無理があります。実はわたしたち大人になかなか余裕がなく、子どもたちの辛さにきちんと向き合うだけの体力・気力が十分でないことが多いです。子どもとリアルに向き合うことをどれだけ楽しめるか？ということが、回復の鍵を握っています。

当院では、ゲームの楽しさをきちんと知っているスタッフが「治療」に関わっています。そして、当院患者家族を対象とした家族教室「紬（つむぎ）」を立ち上げ、家族支援にも力を入れています。

最近では、県内外の小中学校での特別授業、PTAや教育・行政関係の講演依頼をいただく機会も増えてきました。依存は子どものSOSです。その背景に目を向けてあげることで、救われる子どもがたくさんいます。これからもわたしたちにできることから、正しい知識の啓発活動と地域貢献に努めていきたいと思えます。



～NAT活動模様～

■精神科救急学会参加報告

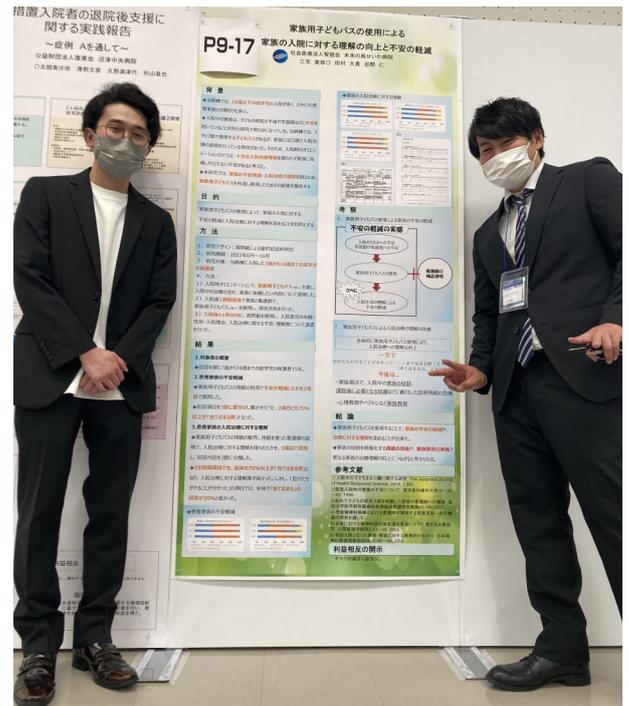
埼玉県さいたま市浦和区で行われた第30回精神科救急学会に参加させていただきました。私たちA5病棟（精神科救急病棟）チームは「家族子どもパス使用による家族の入院に対する理解の向上と不安の軽減」をテーマに10数人の方々にお集まりいただきポスター発表を行いました。

ポスター発表のため、ギャラリーと発表者との距離が近く、発表に対して活発に意見交換が行われました。児童支援への関心の高さを直に確認できたとともに新たな気づきも得られる機会となりました。

また、自分たちの発表のみならずギャラリーとしても様々な研究を知り、刺激を受けた学会でした。

現地で参加させていただいたことで様々な病院の熱意ある取り組みの様子を肌で感じる事ができ更なるモチベーションとなりました。

今後より良い看護、延いてはより良い地域づくりに貢献できるよう試行錯誤し日々の業務にあたりたいと思います。



～ポスター発表の様～

■東北精神保健福祉学会参加報告

第13回東北精神保健福祉学会青森大会に参加させて頂きました。『住み慣れた地域で暮らすための支援を考える』のテーマのもと、精神科領域の医療・福祉・保健に従事する各専門職が連携し、チーム医療の推進・発展を目的とした大会でした。当院デイケアからは、転倒予防の意識を促す取り組みである『ふまねっと運動を通してみられた意識や行動の変化』を発表しました。活動に継続参加することで自身の身体状況を認識し、歩きやすい靴への履き替えや手すりの使用などの行動変化、活動意欲の向上に繋がる結果が得られたことを報告いたしました。

また、コロナ禍でも感染対策をしながら実施できる活動の取り入れやすさも発表内で説明し、ふまねっと運動に対する関心を集めることができました。

当院デイケアは今後もふまねっと運動を継続して実施していき、楽しみながら、転倒数ゼロに向けて取り組んでまいります。本大会はオンライン開催でしたが、多くの施設の方と意見交換し、今後の支援の在り方について学びを深める事ができました。



～ふまねっと運動の様子～

～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室とご指定ください。はじめての受診・入院相談は地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<https://mirai-seiwa.com/chiikiiryorenkei/iryokikan>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当		伊藤医師 佐々木(清)医師	田嶋医師	佐々木(浩)医師 菊地医師 鈴木医師	遠藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木(浩)医師 第2・第4 田嶋医師 第2・第4・第5 遠藤医師
再診担当	菊地医師 鈴木医師	田嶋医師 智田医師 佐藤医師	佐々木(浩)医師 遠藤医師 伊藤医師	智田医師	佐々木(清)医師	

診療時間

月曜日～金曜日	8:30～17:00
土曜日	8:30～12:00
休日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会
未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<https://mirai-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅(5番)発又は盛岡バスセンターより乗車、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅(5番)発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅(5番)発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン入口降車(約30分)バス停より徒歩3分



車

●盛岡駅から車で20分
(国道4号・396号経由 水門バス停過ぎ左折後、500m左側)

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
(県道36号・国道396号経由 同上)

※無料駐車場完備